

レッサーパンダ 21年ぶり誕生

仙台市太白区の市八木山動物公園で、レッサーパンダの双子の赤ちゃんが21年ぶりに誕生した。母親のクルミ（3歳）のおっぱいを飲んですくすくと育っている。一般公開は10月中旬から。併せて愛称も公募する。

2頭とも雌で7月6日に生まれた。誕生直後は推定で全長15センチ、体重約100グラムだったが、30日の計測では34センチ、約600グラムまで成長。全身灰色の毛に覆われ、一般公開のころには親と同じ赤茶色に変わるとい

仙台・八木山動物公園

園内のビクターセンターでは、6日から双子の動画を公開する。約1週間おきに内容を更新し、成長の様子を見せよう。

同園は1987年にレッサーパンダの飼育を始めた。当初は毎年のように繁殖していたが、個体の高齢化が進んだりペアの相性が合わなかったりして、長く途絶えていた。今回の誕生で飼育頭数は7頭に増える。

奥山恵美子市長は5日の定例記者会見で「誕生を一緒に喜び、成長を見守っていきたい」と話した。

双子の雌 10月公開 愛称も募集



生後約1カ月の双子の赤ちゃん（市八木山動物公園提供）

（2014年8月6日河北新報朝刊）

- ①仙台市太白区の八木山動物公園で、21年ぶりにレッサーパンダの赤ちゃんが誕生しました。生まれた赤ちゃんについてまとめてみましょう。
誕生日（ 月 日） 性別（ ）
誕生直後の全長（ ）センチ 誕生直後の体重（ ）グラム
- ②母親の名前はクルミです。生まれた双子の赤ちゃんの名前（愛称）を考えてみましょう。
（ ） と （ ）

年 組 名前